

公立高校入試情報 沖縄県

【社会】

令和3年度沖縄県入試の全体傾向

- 大問構成、問題数について
 - 大問数：地2・歴2・公2の計6問。
 - 小問数は47問（昨年は49問）、文章記述問題は4問。
- 出題傾向について
 - 記述問題は、地理と歴史から各2問。6問中3問は、語句の指定がある。
 - 地理分野では、地形図の読み取りと、人口ピラミッドの並び替えが出題された。
 - 歴史分野では、日本だけでなく、世界の様子も把握しておく対策になる。
 - 公民分野では、「株式会社のしくみ」など、模式図が用いられた。
 - 今年も歴史分野を中心に、沖縄県に関する問題や資料が多く見られる。

■ 資料読み取り問題の出題

・例年、各分野で選択・記述を問わず資料を用いた問題が多く出題されているため、資料の読み取りに慣れておく必要がある。

■ 公民のしくみ図の問題の出題

・公民分野で「株式会社のしくみ」など模式図を用いた問題が出された。政治や経済の模式図の見方に慣れておくことが必要。

★沖縄県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
地理的分野	世界の姿	●	●	●	●
	世界各地の人々の生活と環境	●		●	●
	アジア州	●	●	●	
	ヨーロッパ州, アフリカ州	●	●	●	
	北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州		●	●	●
	日本の姿	●	●		
	世界からみた日本の自然, 人口	●	●	●	●
	世界と日本の資源・産業, 結びつき	●	●	●	●
	九州地方, 中国・四国地方	●	●	●	●
	近畿地方, 中部地方	●			
歴史的分野	関東地方, 東北地方, 北海道地方	●			●
	身近な地域の調べ方	●	●	●	●
	文明のおこりと日本		●	●	
	古代国家の歩み	●	●	●	●
	中世社会の展開	●	●	●	●
	天下統一	●	●	●	●
	近世社会の発展	●	●	●	
	近代ヨーロッパと日本の開国	●	●	●	●
	近代日本の歩み	●	●	●	●
	二度の世界大戦と日本	●	●	●	●
公民的分野	現代の日本と世界	●	●	●	
	現代社会と私たちの生活		●		
	人間の尊重と日本国憲法	●	●	●	●
	現代の民主政治, 国会		●	●	●
	内閣・裁判所, 三権分立		●		●
	地方自治	●			●
	消費生活と流通・生産, 市場経済と金融	●	●	●	●
	国民生活と福祉	●	●	●	
地球社会と私たち	●	●			
分野統合	●	●			
出題形式別の傾向	大問数	7	6	6	6
	小問数	51	48	49	47
	記号解答	35	34	29	31
	用語記述	13	11	16	12
	文章記述	3	3	4	4
	作業・作図				